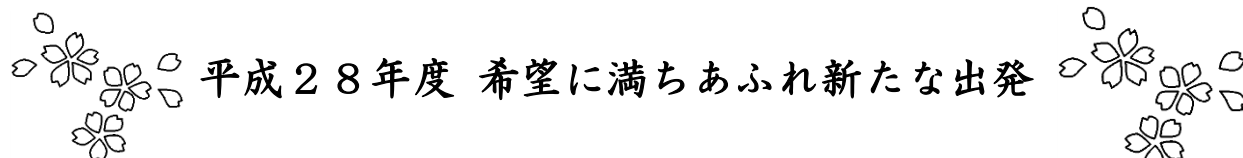




# 大いちょう

平成28年 4月 8日  
さいたま市立高砂小学校

高砂小学校だより 平成28年度 No. 1 048(829)2737



## 平成28年度 希望に満ちあふれ新たな出発

校長 石山 大介

「新梅、木蓮、桜、はなみずき…、美しい花々が次々に咲き誇り、瑞々しい青葉が輝いて、皆さんの進級、入学をお祝いしています。大きな希望を胸に、平成28年度が始まりました。新入生150名と転入生15名を迎え、児童919名、27学級、これに通級指導教室「きこえとことばの教室」を加え、64名の教職員を合わせて約1,000名にもなる大所帯での出発です。家族や友だちが増えることは、とても嬉しいことです。

さてこの度の人事異動により、輝かしい歴史と伝統の高砂小学校に3年間在職し、ご尽力いただきました浅見 茂男校長先生の後任として着任いたしました石山 大介です。どうぞ宜しくお願いいたします。

「たくましく かしこく さわやかに 一個(こ)の確立と公(こ)の発展—」の学校教育目標の下、「明るく 仲よく 進んで」を校訓に、重責を果たすべく、教職員一同「共働共励」の精神で、よりよい教育の創造に向けて全力を尽くしてまいり所存です。引き続きのご支援ご協力をお願いいたします。

年度当初の会議で、目指す教師像「『教育は愛』を胸に実践する教師」を新たに加えました。全ての教育という行為の源は子どもに対する愛情です。温かく包み込むことも、叱ることも、やがて社会に出て自立する子どもたちの成長を願う愛情が出发点です。「『子どもたちが学ぶ喜びと誇りをもつことができ、地域に愛される自慢の学校にするとともに、職員が我が子を通わせたくなるような学校』にしていきたいと思います」と全職員に話しました。

今、子どもたちを取り巻く環境を見ますと、その複雑さが気になります。消費社会は飽くことなく拡大を続け、人々の欲求を刺激し続けます。うっかりすると、欲求を充足することのみに心を奪われ、大切なことを見失ってしまうこともあります。

また人工知能やビッグデータの進化・発達により、今後、社会は想像を超えた変化をしていくこととなります。

そうした中、子どもたちに人として大切なものをしっかりと育てていくため、日々の子どもの生活に対し果たさなければならない家庭の役目、学校の役目を改めて確認し、地域の皆様の温かいご支援をいただきながら、互いに手を携えて子どもたちを育てていきたいと思っています。

児童の皆さん。145年の伝統の上に立ち、新たな区切りの第一歩である146年目を、大きな希望とともに素晴らしい一年にしていきたいと思います。